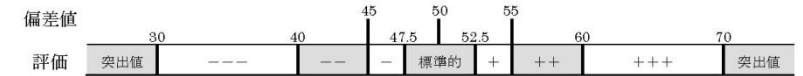


# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 01 健康診査の推進（成人健康診査サービス）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	高齢化率	偏差値	25.4%	60.5	+++	21.4%	31.3%	14.8%	標準偏差 3.8%
	基本健診対象者率（全人口対比）	度数分布	30.2%		++	28.0%	61.2%	9.9%	標準階層 25～30%、5%刻み
結果	基本健診受診者率（全人口対比）	偏差値	16.2%	62.6	+++	10.5%	20.3%	0.9%	標準偏差 4.5%
	各種がん検診延べ受診者率	偏差値	41.0%	67.4	+++	22.0%	58.6%	4.7%	標準偏差 10.9%
	実施されているがん検診	胃・子宮・乳・大腸・前立腺・肺		平均 胃 98.8%・子宮 97.5%・乳 96.3%・大腸 98.8%・前立腺 77.5%・肺 95.0%・その他 13.8%					
	その他成人検診延べ受診者率	実数	0.2%			1.8%	9.3%	0.0%	評価基準導入できず
	実施されているその他検診	骨量		平均 歯周疾患 81.5%・骨量 72.4%・その他 59.2%					
成果	高齢化率が導く 10 万人対死亡率との差	偏差値	-184	27.9	突出値	10 万人対死亡率（理論値）=12.2727×高齢化率-5867.4342（相関係数 0.9378、決定係数 0.8794）			
	3 大死因率	偏差値	58.6%	51.1		58.1%	73.5%	42.1%	標準偏差 4.7%
	3 大死因+糖尿病死亡率	偏差値	59.8%	50.8		59.4%	74.2%	46.3%	標準偏差 4.2%
	3 大死因+糖尿病死亡構成比	悪性新生物 26.9%・心疾患 16.2%・脳血管疾患 15.6%・糖尿病 1.1%		平均 悪性新生物 30.5%・心疾患 15.6%・脳血管疾患 12.0%・糖尿病 1.2%					
コスト	基本健診コスト（受診者 1 人あたり）	偏差値	10,994 円	49.7		11,101 円	25,592 円	3,698 円	標準偏差 3,547 円
	がん検診コスト（受診者 1 人あたり）	偏差値	3,663 円	49.3		3,774 円	8,247 円	798 円	標準偏差 1,687 円
	がん検診負担額（受診者 1 人あたり）	偏差値	357 円	47.5		439 円	1,694 円	0 円	標準偏差 327 円
	成人健診総コスト（受診者 1 人あたり）	偏差値	5,735 円	48.1		6,261 円	18,408 円	2,446 円	標準偏差 2,817 円

■ネットワーク会議コメント 高齢化率は高く、基本健診の対象者率も高くなっていますが、基本健診の受診者率・がん検診の受診者率はともに高く、市と市民の健康維持に対する意識・行動の高さが伺えます。そのためか、提供データによれば、10 万人対死亡率は、高齢化率が導く理論値を大きく下回り、4 死因率も標準的な数値となっています。健康長寿が維持されているとみられます。

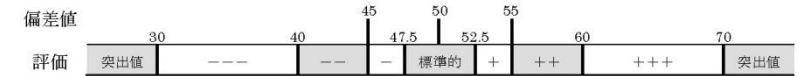
### ■南魚沼市担当（保健課）コメント

- ・健診後の保健指導・健康教室を継続して行ってきた結果、住民の健康に対する意識が高まっていると考えます。
- ・コストは、H 2 0 年度に改正された特定健診・保健指導を円滑に実施するために行った検査などにより高くなっています。
- ・今後は、コスト面のみならず、住民の健診ニーズへの変化に対応するため、健診体制の見直しが必要です。
- ・H 2 0 年度から実施された特定健診という大きな健診体制の変化に対応するためには、更なる住民への働きかけが必要です。今後も、住民が参加できる『ポピュレーションアプローチ』や『ハイリスクアプローチ』事業を行い、受診率の向上はもとより、住民の更なる健康意識の向上と健康づくり事業を行っていきます。

# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 02 妊婦・乳幼児健康診査の推進（妊婦・乳幼児健康診査サービス）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	健康診査対象妊婦率（全人口対比）	度数分布	0.81%	/	-	0.88%	1.34%	0.55%	標準階層 0.85~0.95%、0.1%刻み
	1歳半健診対象者率（全人口対比）	度数分布	0.84%	/		0.85%	1.13%	0.51%	標準階層 0.8~0.9%、0.1%刻み
	3歳児健診対象者率（全人口対比）	偏差値	0.83%	45.3	-	0.88%	1.15%	0.50%	標準偏差 0.12%
	予防接種対象者率（全人口対比）	偏差値	9.3%	48.1		9.7%	16.9%	5.2%	標準偏差 2.2%
結果	妊婦1人あたり無料受診票配布数	再検討中							
	妊婦一般健診無料分受診率	偏差値	63.0%	26.2	突出値	88.4%	104.5%	55.7%	標準偏差 10.6%
	1歳半健診受診者率	度数分布	96.8%	/	++	94.6%	101.86%	85.0%	標準階層 94~95%、1%刻み
	3歳児健診受診者率	偏差値	98.3%	62.6	+++	92.3%	100.0%	70.4%	標準偏差 4.7%
	予防接種接種率	偏差値	94.8%	54.0	+	87.9%	164.2%	44.6%	標準偏差 17.1%
成果	周産期死亡率	度数分布	7.95	/	++	3.79	11.63	0.00	標準階層 3~5、2刻み
	乳幼児死亡率	偏差値	0.40	44.5	--	0.63	2.01	0.00	標準偏差 0.57
コスト	妊婦1人あたりコスト	偏差値	16,799円	46.8	-	20,274円	64,982円	6,776円	標準偏差 10,785円
	1歳半健診1人あたりコスト	偏差値	15,288円	71.5	突出値	5,983円	26,130円	1,071円	標準偏差 4,336円
	3歳児健診1人あたりコスト	偏差値	13,727円	67.5	+++	5,936円	26,318円	1,286円	標準偏差 4,439円
	1歳半+3歳児健診1人あたりコスト	偏差値	14,508円	65.9	+++	6,553円	26,223円	1,177円	標準偏差 5,123円
	予防接種1人あたりコスト	偏差値	6,277円	46.4	-	7,181円	18,545円	3,701円	標準偏差 2,545円

■総合コメント 乳幼児健診等の受診率は高く、乳幼児死亡率もかなり低く抑えられています。乳幼児健診のコストが高く出ているのは、2つの健診以外の事業費が入っているためと見られます。他方、周産期死亡率の高さが気になり、提供データによる限り妊婦一般健診無料分受診率が突出的に低くなっています。検討が必要です。

### ■南魚沼市担当（保健課）コメント

- ・乳幼児健診については、乳幼児健診については、健診対象者数に応じた適正な従事職員数を配置する等、コスト削減を図りながら高受診率を維持していく必要があります。
- ・周産期死亡率の改善は、妊産婦医療費助成制度の利用と妊婦健診受診票の交付枚数の拡大を図りながら、適切な時期に必ず医療機関を受診するよう受診勧奨を行いたい。
- ・妊婦一般健診無料分受診率の低数値となっている理由は、年度途中に受診票の交付枚数を2枚から5枚に変更したことが影響していると思われます。

# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 03 国民健康保険の充実（市町村国保事業）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	高齢化率	偏差値	25.4%	60.5	+++	21.4%	31.3%	14.8%	標準偏差 3.8%
	被保険者率（全人口対比）	度数分布	39.9%		突出値	34.7%	52.4%	23.7%	標準階層 33.5～35.5%、2%刻み
	被保険者の構成	一般 84.6%・退職 15.4%		平均 一般 78.9%・退職 21.1%					
結果	従事職員 1 人あたり被保険者数	度数分布	1,672 人		--	2,747 人	5,609 人	801 人	標準階層 2,500～3,000 人、500 人刻み
	保険給付者 1 人あたり給付件数	再検討中							
成果	被保険者 1 人あたり給付金（全体）	偏差値	144,937 円	38.9	---	180,988 円	279,235 円	137,586 円	標準偏差 32,452 円
	被保険者 1 人あたり給付金（一般）	偏差値	118,380 円	42.4	--	142,210 円	248,195 円	96,949 円	標準偏差 31,253 円
	被保険者 1 人あたり給付金（退職）	偏差値	291,303 円	40.0	--	327,699 円	447,240 円	257,799 円	標準偏差 36,384 円
コスト	予算額に対する決算額の割合	偏差値	95.6%	42.8	--	97.4%	104.5%	90.7%	標準偏差 2.4%
	被保険者 1 人あたり決算額	偏差値	239,955 円	40.8	--	285,782 円	448,699 円	220,281 円	標準偏差 50,004 円
	被保険者 1 人あたり繰出額	偏差値	14,513 円	41.5	--	22,519 円	54,938 円	7,696 円	標準偏差 9,379 円
	一般会計繰出率	偏差値	6.0%	43.7	--	7.8%	19.2%	3.0%	標準偏差 2.8%
	従事職員 1 人あたり給与費	偏差値	5,429,400 円	43.4	--	6,276,532 円	11,778,273 円	3,120,564 円	標準偏差 1,292,851 円

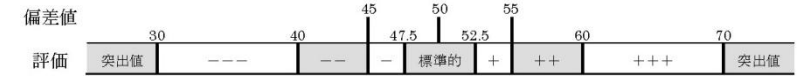
■総合コメント 高齢化率が高いためと思われませんが、被保険者率が高くなっています。給付金やコストを低く抑えている様子が伺え、市、市民相互の努力が見られます。高齢化率と市町村国保被保険者率が高い中でのベスト・プラクティス都市の一つと見られます。この成果は、健康診査事業の充実の成果でもあります。しかし、総体として、市立病院等の経費が市財政を圧迫していないかなどなどの検討が必要です。

■南魚沼市担当（市民課）コメント 高齢化の進展、医療費の増加は今後も続きます。20 年度から特定健診・特定保健指導が始まりました。生活習慣病を予防することで医療費の増加を抑制し、保険税の軽減を図ります。市立病院の経費は国保会計には含まれません。

# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 04 保育サービスの充実（保育所運営）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	要保育児童率（全人口対比）	度数分布	3.23%		突出値	1.84%	3.26%	0.75%	標準階層 1.5～2.0%、0.5%刻み
成果	待機率		0.00%	待機率ゼロ都市率 48.1%、待機率最大値 26.2%					
	市立保育所児童受入率	度数分布	80.8%		++	49.4%	100.0%	1.3%	標準階層 40～60%、20%刻み
コスト	保育児童 1 人あたりコスト（市立）	偏差値	1,074,761 円	47.0	-	1,171,153 円	2,330,263 円	624,105 円	標準偏差 324,498 円
	保育児童 1 人あたりコスト（民間）	偏差値	1,020,044 円	50.2		1,016,153 円	1,820,255 円	664,584 円	標準偏差 197,845 円
	保育児童 1 人あたりコスト（総合）	偏差値	1,064,244 円	49.4		1,080,136 円	2,229,351 円	640,229 円	標準偏差 260,729 円
	保護者負担	偏差値	234,302 円	49.8		235,229 円	380,636 円	156,593 円	標準偏差 39,684 円
	保護者負担率	度数分布	22.0%			22.7%	42.5%	10.1%	標準階層 20～25%、5%刻み
保育所サービスの市立・民間比較（結果）		御市数値			全国平均値				
		市立	民間	総合	市立	民間	総合		
結果	従事職員 1 人あたり保育児童数		6.5 人	4.9 人	6.1 人	5.6 人	5.0 人	5.5 人	
	保育士 1 人あたり保育児童数		7.6 人	5.7 人	7.1 人	7.1 人	6.6 人	7.0 人	
	実質充足率		84.1%	116.4%	88.8%	96.0%	109.7%	103.0%	
	ゼロ歳児保育実施保育所率		40.9%	100.0%	50.0%	67.7%	92.9%	77.9%	
	延長保育実施保育所率		45.5%	100.0%	53.8%	59.7%	88.5%	74.8%	
	障害児保育実施保育所率		100.0%	100.0%	100.0%	78.1%	66.1%	73.3%	

■総合コメント 要保育児童率がかなり高く、市立保育所中心の都市ですが、待機率ゼロを維持し、コストや保育の質は、私立、民間ともに標準的です。問題点は少ないとみられます。

### ■南魚沼市担当（子育て支援課）コメント

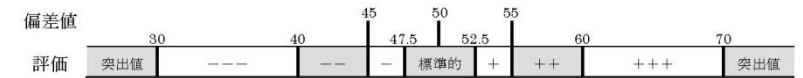
総入所数は減少しているが、3歳未満児や障がいを持った児童に対しての保育士配置数が増加しているため、コストは増加している。

市立の職員給与は、106,109 千円（△6.4%）、その他経費は、40,456 千円前年に比べて減少しています。これは、民間委託による委託経費の増加分 112,421 千円を上回っています。財政面での保育園の民間委託効果と言えます。

# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 05 学童保育サービス（放課後児童健全育成事業）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考	
基本	学童保育対象上限学年		6		全学年	低学年タイプ（3 学年）46.9%、全学年タイプ（6 学年）43.2%				
結果	市要綱等による開設時間	平日終了 18:00、学校休業日 8:00～18:00				最頻度 平日 18:00 終了、学校休業日 8:00～18:00				
	設置・運営形態の構成比	公設公営 0.0%・公設民営 91.7%・民設民営 8.3%				平均 公設公営 49.5%・公設民営 30.5%・民設民営 20.1%				
	小学校数に対する開設率	偏差値	60.0%	38.4	---	94.2%	200.0%	19.1%	標準偏差 29.5%	
	指導員に対する研修の有無	無				ありの都市 65.4%				
コスト	保育学童 1 人あたりコスト（公設公営）	偏差値	円			192,379 円	555,389 円	14,660 円	標準偏差 103,343 円	
	保育学童 1 人あたりコスト（公設民営）	偏差値	185,729 円	57.0	++	120,870 円	439,866 円	5,065 円	標準偏差 92,779 円	
	保育学童 1 人あたりコスト（民設民営）	度数分布	49,551 円		突出値	108,914 円	271,984 円	8,194 円	標準階層 100,000～120,000 円	
	保育学童 1 人あたりコスト（総施設）	偏差値	149,211 円	49.5		153,015 円	429,462 円	22,553 円	標準偏差 81,771 円	
成果	学童保育実施率	偏差値	10.6%	42.7	--	15.8%	43.0%	4.7%	標準偏差 7.1%	
	設置・運営形態別サービス比較	御市				全国平均値				ガイドライン
		公設公営	公設民営	民設民営	総施設	公設公営	公設民営	民設民営	総施設	
	1 施設あたり保育学童数	人	26.5 人	107.0 人	33.0 人	43.4 人	55.7 人	35.5 人	51.0 人	40 人以下
	指導員 1 人あたり保育学童数	人	9.7 人	26.8 人	11.7 人	11.8 人	15.2 人	9.4 人	13.0 人	
保育学童 1 人あたり保育スペース	m <sup>2</sup>	2.53 m <sup>2</sup>	1.65 m <sup>2</sup>	2.30 m <sup>2</sup>	2.74 m <sup>2</sup>	3.71 m <sup>2</sup>	3.14 m <sup>2</sup>	2.57 m <sup>2</sup>	1.65 m <sup>2</sup> 以上	

■総合コメント 民設民営は特異な例で、ほぼ公設民営・全学年タイプで運営されていると見られます。施設あたりの保育児童数、指導員 1 人あたり保育児童数、保育児童 1 人あたりの保育スペース等は余裕が見られます。小学校に対する開設率は低い数値が出ていますので、統合等も含む今後の小学校配置のあり方を見据えながら、開設率を上げていくことが望まれます。

### ■南魚沼市担当（子育て支援課）コメント

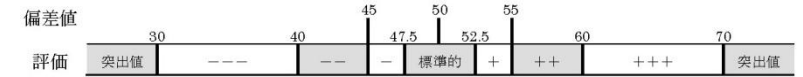
公設民営のコストは、今後小規模クラブが新設されると一時的に上昇しますが、学童保育児童数は増加傾向にあることから、今後は保育学童 1 人当たりコストは減少する見込みです。



# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 06 介護保険制度の適正な運用（高齢者介護サービス）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均	最大値	最小値	備考
基本	高齢化率	偏差値	25.4%	60.5	+++	21.4%	31.3%	14.8%	標準偏差 3.8%
結果	要介護・要支援認定者率	偏差値	4.3%	60.2	+++	3.4%	6.5%	1.6%	標準偏差 0.9%
	従事職員 1 人あたり要介護・要支援認定者数	偏差値	109 人	36.9	---	284 人	618 人	56 人	標準偏差 134 人
成果	在宅介護率	偏差値	63.0%	53.2	+	61.2%	80.8%	47.1%	標準偏差 5.4%
	在宅介護者 1 人あたり在宅介護サービス給付金	偏差値	1,346,550 円	61.5	+++	1,152,395 円	1,531,621 円	662,833 円	標準偏差 169,164 円
	施設介護率	偏差値	19.0%	50.8		18.7%	32.8%	13.1%	標準偏差 3.3%
	施設介護者 1 人あたり施設介護サービス給付金	偏差値	3,051,926 円	46.3	-	3,163,701 円	4,271,303 円	2,647,614 円	標準偏差 271,614 円
コスト	予算額に対する決算額の割合	偏差値	98.9%	57.7	++	96.3%	101.5%	84.2%	標準偏差 3.4%
	要介護・要支援認定者 1 人あたり決算額	度数分布	1,650,047 円	/	+	1,517,805 円	1,816,341 円	1,215,226 円	標準階層 1,500,000~1,600,000 円
	決算額と理論値との差	偏差値	126,646 円	60.6	+++	5,746 円	258,909 円	-333,842 円	標準偏差 114,246 円
	要介護・要支援認定者 1 人あたり繰出額	度数分布	240,738 円	/	+	225,161 円	282,528 円	169,960 円	標準階層 220,000~230,000 円
	繰出額と理論値との差	偏差値	37,039 円	55.2	++	18,237 円	119,398 円	-53,196 円	標準偏差 36,393 円
	一般会計繰出率	偏差値	14.6%	47.9		14.8%	17.2%	11.9%	標準偏差 1.1%
	従事職員 1 人あたり給与費	偏差値	6,058,960 円	48.7		6,343,187 円	11,882,286 円	2,389,909 円	標準偏差 1,752,565 円

■総合コメント 高齢化率が高いだけに要介護・要支援認定率は高くなっています。在宅介護に重点を置いているためか、在宅介護率、在宅介護者 1 人あたりのサービス給付金が高くなっています。全体的にコストが高めです。職員 1 人あたりの給与費は標準的ですが、従事職員 1 人あたりの要介護・要支援認定者数がかなり少なく、コストに反映している可能性があります。合併等により広域化し、かつ在宅介護中心なので、やむをえない数値かもしれませんが、圧縮の工夫が求められます。隣接する魚沼市、十日町市も同傾向ですが、同程度の高齢化率・人口でコストを抑えている秋田県湯沢市、群馬県安中市、埼玉県秩父市は参考となるとみられます。

### ■南魚沼市担当（福祉課）コメント

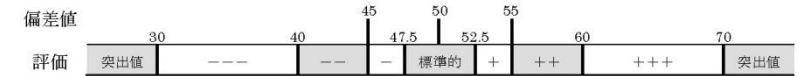
在宅（居宅）介護サービス給付費には地域密着型介護サービス給付費が含まれているため、在宅介護率が標準的であっても、サービス給付費が高くなっています。今後も増え続ける要介護認定者の受け皿として地域密着型施設（国県においても整備に重点を置いている）整備は進める必要があり、サービス給付費の上昇は避けられない状況です。

地域密着型介護施設：入所（入居）定員 29 人以下の特別養護老人ホーム、認知症対応型共同生活介護施設、小規模多機能型居宅介護施設、介護付有料老人ホーム等

# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 07 身近なスポーツ活動の振興（市立スポーツ施設管理運営事業）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	市民 1 人あたりスポーツ施設整備面積（外れ値除く）	偏差値	6.09 m <sup>2</sup>	72.8	突出値	2.04 m <sup>2</sup>	7.50 m <sup>2</sup>	0.07 m <sup>2</sup>	標準偏差 1.77 m <sup>2</sup>
	指定管理者制度の導入	84.8%					平均 全面導入 15.2%	一部導入 59.5%	なし 25.3%
結果	配置職員 1 人あたり平均サービス人口（外れ値除く）	偏差値	6,978 人	52.8	+	5,891 人	16,242 人	664 人	標準偏差 3,932 人
	日本体協公認 C 級以上取得指導者配置の有無	有					平均 配置都市 39.2%		
成果	利用者率	偏差値	520.9%	53.5	+	443.4%	1,257.7%	89.3%	標準偏差 219.5%
コスト	利用者 1 人あたり管理運営コスト	偏差値	227 円	41.6	--	445 円	1,752 円	43 円	標準偏差 259 円
	市民 1 人あたり管理運営コスト	偏差値	1,181 円	44.6	--	1,871 円	8,029 円	271 円	標準偏差 1,277 円
	利用者 1 人支出額（外れ値除く）	偏差値	111 円	56.2	++	79 円	229 円	13 円	標準偏差 52 円
	管理運営に対する支出額割合	偏差値	49.1%	63.1	+++	23.2%	132.8%	3.1%	標準偏差 19.9%

### 市立スポーツ施設の種類と数（基本）

	屋外競技場	屋内競技場	体育館	プール	野球場	庭球場	ゴルフ場	サッカー・ラグビー場等	スキー場	スケートリンク	武道場その他
御市の数	14	1	8	2	3	3			1		1
有している都市の率	82.5%	23.8%	93.8%	78.8%	81.3%	90.0%	7.5%	33.8%	11.3%	6.3%	71.3%
1 市あたり平均数	8	2	5	3	5	6	2	2	2	2	5
1 市あたり最大数	55	10	16	13	32	91	4	12	5	5	62

■総合コメント 施設も多種多数で、施設整備面積は広く、指導者も配置されています。利用者率の高さは、その成果と言え、コストも抑えられています。ベター・プラクティス都市と言えます。スキー場は、御市の立地性、都市個性を表していると見られます。

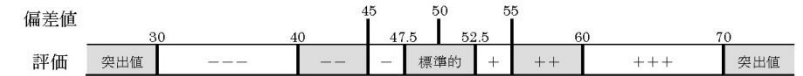
### ■南魚沼市担当（社会教育課）コメント

スキー競技以外の県大会、全国大会を実施できる市内のスポーツ施設は、大原運動公園のテニスコート（20 面・砂入り人工芝コート）しかありません。スポーツ振興を図るためには、身近に施設があることも重要な要素です。今後、スポーツ施設・設備の整備について検討を行います。

# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 08 図書館サービスの充実（図書館サービス）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	図書館数（1市1館か複数館か）	1			1市1館 42.0%				
	図書館協議会の設置	無			図書館協議会設置都市 78.5%				
	指定管理者制度の導入	有			指定管理者導入都市 11.3%				
	1館あたり平均サービス人口（外れ値除く）	偏差値	62,799人	49.4		65,800人	205,024人	8,212人	標準偏差 47,847人
結果	配置職員1人あたり平均サービス人口	偏差値	31,400人	95.6	突出値	8,085人	31,400人	1,635人	標準偏差 5,118人
	1館あたり配置職員数	偏差値	2.0人	40.4	--	10.5人	51.0人	1.0人	標準偏差 8.9人
	司書有資格者配置率	度数分布	100.0%	/	突出値	49.8%	100.0%	0.0%	標準階層 45%~55%
	市民1人あたり蔵書・ソフト数	度数分布	1.5点	/	--	2.8点	5.1点	1.0点	標準階層 2.5点~3.0点
成果	利用者（入館者）率	偏差値	77.8%	38.1	---	290.3%	967.7%	41.4%	標準偏差 178.4%
	貸出者率（外れ値除く）	度数分布	44.3%	/	突出値	124.7%	259.8%	12.4%	標準階層 110%~135%
	全利用者に占める貸出者割合	偏差値	57.0%	55.5	++	47.4%	102.1%	10.3%	標準偏差 17.4%
	市民1人あたり年間図書等貸出数	度数分布	1.5点	/	突出値	5.0点	10.6点	1.1点	標準階層 4.5点~5.5点
コスト	貸出者1人あたり管理運営コスト（外れ値除く）	偏差値	477円	36.2	---	1,296円	10,601円	211円	標準偏差 1,168円
	市民1人あたり管理運営コスト	偏差値	211円	30.9	---	1,425円	3,594円	211円	標準偏差 635円

■総合コメント 提供データ通りなら、図書館サービスは極めて低調と言わざるをえません。スポーツ施設管理運営事業等と対照的です。市民・利用者アンケートなども手法として、抜本的な点検が必要と見られます。なお、御市は国際大学、北里学園等の高等教育施設があるので、それらとの連携で図書館サービスを改善していくことも望まれます。

### ■南魚沼市担当（社会教育課）コメント

図書館としての住民サービス指標は全般的に満足の数値ではありませんが、総合計画にある図書館（情報館）建設計画策定の中で検討を進めます。

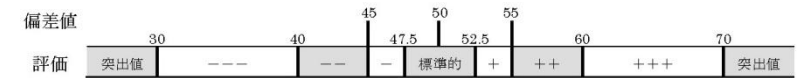
当面、サービス向上を図るために、市民からの図書寄贈を今以上に活用して、福祉施設等への配置や読書会などの事業を進めることで、市民へのサービスを充実させることを検討しています。



# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 09 公民館活動の充実（公民館活動）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	公民館運営審議会の設置		有			公民館運営審議会設置都市 70.9%			
	社会教育委員会議の設置		有			社会教育委員会議設置都市 77.2%			
	指定管理者制度の導入		無			指定管理者導入都市 16.0%			
	地区（地域住民）管理の導入		無			地区（地域住民）管理導入都市 17.3%			
	他機能兼務の導入		無			他機能兼務導入都市 55.6%			
	1館あたり平均サービス人口（外れ値除く）	偏差値	6,280 人	42.7	--	15,184 人	48,726 人	8,212 人	標準偏差 12,143 人
結果	公民館 1館あたり小学校数（外れ値除く）	偏差値	2.00 校	49.8		2.03 校	6.33 校	0.33 校	標準偏差 1.41 校
	公民館 1館あたり中学校数（外れ値除く）	偏差値	0.60 校	45.0	-	0.89 校	2.38 校	0.12 校	標準偏差 0.58 校
	社会教育主事有資格者配置率	20.0%				有資格者配置都市 64.1%、配置率：10%未満都市 32.1%			
成果	利用者（入館者）率	度数分布	165.0%	44.9	--	230.3%	604.3%	15.1%	標準階層 205%~255%
	事業構成比	公民館主催% 団体・地域利用% その他%				平均 公民館主催事業 15.0% 団体・地域利用 69.0% その他 14.2%			
コスト	利用者 1人あたり管理運営コスト	偏差値	1,269 円	56.9	++	824 円	3,988 円	131 円	標準偏差 649 円
	市民 1人あたり管理運営コスト	偏差値	2,102 円	53.3	+	1,671 円	6,7954 円	99 円	標準偏差 1,301 円

■総合コメント 小学校 2校に 1館の設置で標準的な数値を示していますが、市民サイドから見ると、施設の配置は手厚くなっています。にもかかわらず、利用者率が低めの数値が出ています。ギャップの原因は何かを探ってみる必要があるとみられます。距離でしょうか。

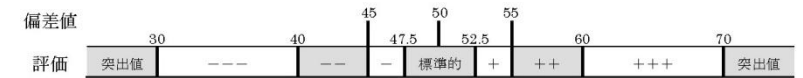
### ■南魚沼市担当（社会教育課）コメント

公民館事業と平成 20 年度から本格的に事業化された「地域コミュニティ事業」との連携を深めることで、それぞれの地区に合った公民館活動の活性化と地区住民の公民館活動への参加者数の増加を図ります。

## 南魚沼市 07 年度分析カルテ

### 10 芸術分活動学習機会の充実（文化会館事業）

#### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	文化会館数（1市1館か複数館か）		1			1市1館 41.0%			
	指定管理者制度の導入		有			指定管理者導入都市 59.5%			
結果	市民 10,000 人あたり文化会館等座席数	偏差値	197	51.2		183	536	14	標準偏差 113
	職員 1 人あたり平均サービス人口（外れ値除く）	偏差値	12,560 人	51.1		11,791 人	31,943 人	2,724 人	標準偏差 6,768 人
	1 館あたり配置職員数（外れ値除く）	偏差値	5.0 人	43.8	--	8.2 人	22.0 人	0.5 人	標準偏差 6.1 人
	技術専門職配置の有無		有			技術専門職配置都市 58.7%			
成果	利用者率	偏差値	162.1%	49.7		165.2%	524.3%	5.0%	標準偏差 95.4%
	座席回転率	偏差値	82.4	45.9	-	106.4	314.0	3.0	標準偏差 59.2
コスト	利用者 1 人あたり管理運営コスト（外れ値除く）	度数分布	445 円	/	--	895 円	1,776 円	155 円	標準階層 800~1,000 円
	市民 1 人あたり管理運営コスト（外れ値除く）	偏差値	721 円	41.8	--	1,425 円	3,594 円	211 円	標準偏差 635 円
	利用者 1 人あたり支出額（外れ値除く）	偏差値	374 円	63.0	+++	205 円	584 円	14 円	標準偏差 130 円
	管理運営費に対する支出額割合	偏差値	84.2%	87.9	突出値	25.7%	84.2%	1.4%	標準偏差 15.4%

■総合コメント コストを抑えて、標準的な運営がされている様子が伺えます。提供データによる限り、市民の受益者負担意識も徹底していると考えられます。問題は少ないとみられます。

#### ■南魚沼市担当（社会教育課）コメント

配置職員については、企画管理職員 2 人が技術職員を兼ねており人件費的にもコストが抑えられている。運営面でもいろいろなアイデアを生かした企画を考え、市民のニーズに答えられる自主事業等を積極的に取り入れ利用者増をはかる必要がある。

# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 11 芸術文化活動学習機会の充実（博物館・美術館事業）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	指定管理者制度の導入	66.7%	平均 全面導入 5.7% 一部導入 22.9%	なし	71.4%				
結果	学芸員有資格者配置率	偏差値	28.6%	48.3		32.0%	100.0%	5.9%	標準偏差 20.4%
	市民10,000人あたり普及講座等開設回数	3.5回	1回未満 17.7%、1～2回 24.2%、2～5回 25.8%、5～10回 14.5%、10回以上 17.7%						
成果	市民10,000人あたり普及講座等参加者数	3,290人	～100人 27.0%、100～500人 28.62%、500～1,000人 12.7%、1,000～5,000人 28.6%、5,000人以上 3.2%						
コスト	利用者1人あたり管理運営コスト	403円	～500円 9.2%、500～1,000円 16.9%、1,000～2,500円 33.8%、2,500～5,000円 32.3%、5,000円以上 7.7%						
	市民1人あたり管理運営コスト	621円	～250円 31.3%、250～500円 19.4%、500～1,000円 22.48%、1,000～2,000円 17.9%、2,000円以上 9.0%						
	利用者1人あたり支出額	87円	～50円 29.0%、50～100円 27.5%、100～200円 26.1%、200～500円 14.5%、500円以上 19.1%						

### 博物館・美術館等設置の状況と利用者率

	設置状況（基本）				利用者率（成果）				
	御市	全国			御市	全国			
	施設数	複数施設あり	1市1施設	なし	利用者率	回答市数	平均値	最大値	最小値
歴史・民俗系	2	56.3%	32.4%	11.3%	135.7%	61	28.4%	242.2%	1.2%
美術系	1	12.7%	22.5%	64.8%	18.3%	25	54.0%	362.3%	2.5%
自然系	0	2.8%	12.7%	84.5%	%	11	74.3%	430.4%	2.6%
その他	0	4.2%	19.7%	76.1%	%	15	40.7%	175.5%	3.9%
総施設	3	67.6%	31.0%	1.4%	153.9%	69	66.4%	660.5%	1.3%

■総合コメント 職員の実感とは齟齬しているかもしれませんが、歴史・民俗系の2つの施設の利用者率はかなり高くなっています。内実を確認して、市民の親近感あるいは観光的集客性を高めていくことが望まれます。「天地人」は良い機会ですね。

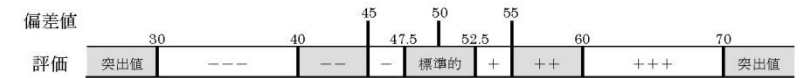
### ■南魚沼市担当（社会教育課）コメント

歴史・民俗系の利用者率については、一事業(産業祭り)を除くと残念ながら利用者率が標準以下に下がります。屋内外の事業(市民のニーズに対応した事業)を数多く企画して活性化を図る必要があります。美術系については、市民のニーズに応えられる企画展等を積極的に取入れ利用者の増を図ります。

# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 12 都市交通基盤整備（市道の維持・管理）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	都市計画区域構成比	市街 0.0%・調整 0.0%・非線引き 69.2%・区域外 30.8%			平均 市街化 25.2%・調整 34.4%・非線引き 13.9%・区域外 26.5%				
	道路構成比	市道 74.2%・都道府県道 17.4%・国道 8.4%			平均 市道 87.4%・都道府県道 10.6%・国道 3.3%				
	市民 1 人あたり市道実延長	偏差値	15.2m	59.1	++	9.2m	26.3m	1.0m	標準偏差 6.6m
結果	市道改良率（市道実延長対比）	度数分布	77.1%	/	++	59.0%	100.0%	23.5%	標準階層 55%～65%
	改良済み市道に対する歩道設置率	偏差値	6.2%	40.2	--	17.8%	68.2%	2/0%	標準偏差 11.8%
	改良済み市道に対する緑化率	%			5%未満都市 53.1%				
	街路事業の進捗状況	検討中							
成果	市民 10,000 人あたり交通事故発生件数	偏差値	41.9 件	43.6	--	92.9 件	417.6 件	21.8 件	標準偏差 79.2 件
	市民 10,000 人あたり交通事故死傷者数	度数分布	56.8 人	/	-	80.6 人	168.1 人	26.6 人	標準階層 70 人～90 人
コスト	除雪費用を除く市民 1 人あたり道路橋梁全事業費	偏差値	16,985 円	66.8	+++	8,894 円	24,181 円	1,842 円	標準偏差 3,547 円
	除雪費用を除く市民 1 人あたり道路橋梁全維持費	偏差値	2,933 円	51.1		2,711 円	13,477 円	21 円	標準偏差 1,687 円
	除雪費用を除く市民 1 人あたり道路橋梁全改良費	偏差値	14,052 円	71.0	突出値	5,593 円	21,396 円	9 円	標準偏差 4,024 円
	街路事業のコスト評価	検討中							

■総合コメント 広域・豪雪地帯ということもあって、道路実延長や改良率は高くなっていますが、その分歩道設置率は低くなっています。幸い交通事故の発生件数・死傷者数は低く止まっていますが、今後は歩道整備に重点を移した道路の整備・維持が有効と見られます。

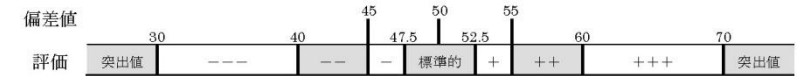
### ■南魚沼市担当（建設課）コメント

歩道の整備率が低いので、今後も計画的に整備を進め歩行者の安全確保に努めていきます。

# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 13 消防・救急事業（消防・救急サービス）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	消防署 1 署あたり平均サービス人口	偏差値	31,400 人	44.7	--	49,168 人	175,493 人	10,198 人	標準偏差 33,831 人
	消防団 1 分団あたり平均サービス人口	偏差値	3,925 人	43.1	--	9,300 人	42,105 人	1,483 人	標準偏差 7,781 人
結果	消防署員 1 人あたり平均サービス人口	度数分布	805 人			972 人	1,673 人	456 人	標準階層 900 人～1,100 人
	消防隊員 1 人あたり平均サービス人口	偏差値	1,047 人	41.5	--	1,533 人	3,706 人	629 人	標準偏差 572 人
	救急隊員 1 人あたり平均サービス人口	偏差値	3,489 人	48.5		3,823 人	12,038 人	723 人	標準偏差 2,156 人
	救急隊員に占める救急救命士比率	度数分布	66.7%		++	49.0%	100.0%	13.8%	標準階層 45%～55%
	消防団員 1 人あたり平均サービス人口	偏差値	26 人	39.2	---	339 人	1,289 人	26 人	標準偏差 290 人
	稼働している消防車 1 台あたり人口	偏差値	1,396 人	41.6	--	3,302 人	14,035 人	654 人	標準偏差 2,260 人
	稼働している救急車 1 台あたり人口	偏差値	20,933 人	44.1	--	28,516 人	67,250 人	8,358 人	標準偏差 12,828 人
	救急車に占める高規格救急自動車割合		66.7%		100%都市 55.4%、50%未満都市 4.1%				
成果	市民 10,000 人あたり火災発生件数	偏差値	3.5 件	44.4	--	4.2 件	9.6 件	2.0 件	標準偏差 1.3 件
	市民 10,000 人あたり救急車出場件数	偏差値	330.9 件	42.5	--	375.4 件	590.1 件	272.9 件	標準偏差 59.6 件
	救急車平均到着時間	偏差値	9.2 分	66.7	+++	6.7 分	13.0 分	4.4 分	標準偏差 1.5 分
コスト	市民 1 人あたり常備消防費	偏差値	11,970 円	52.9	+	11,105 円	19,349 円	2,407 円	標準偏差 2,945 円
	市民 1 人あたり消防団（非常備消防費）	偏差値	3,207 円	79.6	突出値	908 円	3,254 円	0 円	標準偏差 777 円

■総合コメント 広域・豪雪地帯ということもあり、施設・設備・人員ともに手厚い配置となっています。消防団コストが突出値なのは、そのためと見られます。手厚い体制が火災発生件数や救急車出場件数を抑え込む啓発効果ともなっていますが、救急車平均到着時間はかなり延着気味です。消防団の体制がしっかりしていますので、AED や応急措置の訓練を地域・集落で定期的に行い、地域の安全・安心を高めていくことが望まれます。

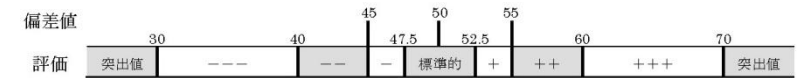
### ■南魚沼市担当（消防本部）コメント

・救急車平均到着時間が平均以上になってしまう主な原因は、市域の広さと冬季の豪雪によるものと思われます。消防分署を増設することで到着時間を短縮することは可能ですが、財政や効率性を考えたときにすぐに対応することはできません。とりあえず出来ることとして、指摘の手法も有効と考えますので、今後検討します。管内では救急車の不適正な利用は少ないものの、救急車の適正利用について、さらに住民に呼びかけていきます。

## 南魚沼市 07 年度分析カルテ

### 14 安全・安心な水供給（水道施設整備・運営事業）

#### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	自己保有水源率（自己水源水量／全水源水量）	100.0%		10%未満都市 11.8%、10～50%都市 35.3%、50～100%都市 20.6%、100%都市 34.4%					
	全普及率（給水人口／全人口）	偏差値	97.1%	50.8		96.5%	121.8%	75.7%	標準偏差 6.4%
	構成（普及率の構成）	水道 96.1%、簡易水道 0.9%、小水道 0.0%			平均 水道 91.4%、簡易水道 4.9%、小水道 0.2%				
結果	有効率（有効水量／年間総配水量）	偏差値	81.6%	30.7	---	92.6%	100.0%	77.1%	標準偏差 5.7%
	施設利用率（1日平均配水量／1日給水能力）	偏差値	33.1%	21.1	突出値	65.8%	108.3%	33.1%	標準偏差 11.3%
	技術職員率	度数分布	55.6%		+	45.2%	76.1%	0.0%	標準階層 40%～50%
	水質不適合率（水質検査不適合回数／水質検査回数）	0.00%		0.00%回答都市 95.9%					
成果	有収率（有収水量／年間総配水量）	偏差値	79.3%	35.3	-	88.2%	97.2%	67.1%	標準偏差 6.0%
	1人1日平均配水量	偏差値	379L	53.5	+	357L	559L	238L	標準偏差 65L
コスト	給水人口1人あたりコスト	偏差値	41,071円	79.6	突出値	20,183円	46,370円	198円	標準偏差 7,063円
	給水人口1人あたり収入	偏差値	40,125円	79.6	突出値	21,452円	40,416円	227円	標準偏差 6,312円
	総収支比率	偏差値	97.7%	41.6	--	108.3%	164.1%	81.0%	標準偏差 12.6%

■総合コメント 提供データによれば、コストがかなり高くなっています。データの再確認が必要と思われますが、有効率、有収率の低さも気になります。魚沼市が同傾向なのを考えると、融雪利用のためでしょうか。なお、十日町市では有収率は低いものの有効率は高い数値となっています。

#### ■南魚沼市担当（水道課）コメント

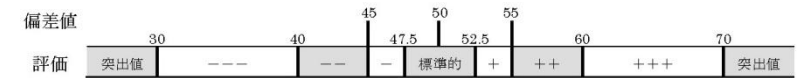
下水道の整備により年々下水道接続数は増加していますが、近年全国的な節水志向の高まりから、水道収入の増は見込めない現状です。しかし、支出面で平成19年度から高利率起債の借換えが認められたことから、起債の支払利息が減少しています。また、高料金対策として一般会計からの補助金を受けられることから、平成21年7月～11月まで水道基本料金の概ね50%を軽減することとしました。22年度以降の水道料金体系については、早急に将来財政推計を行い結論を出します。



# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 15 汚水処理施設整備・運営の推進（汚水処理施設整備・運営事業）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	汚水処理施設計画人口比	偏差値	117.2%	56.8	++	102.0%	163.1%	0.8%	標準偏差 22.2%
	構成比	下水道 82.9%、集落排水 29.7%、合併浄化槽 4.6%、コミプラ 0.0%			平均 下水道 87.5%、集落排水 5.3%、合併浄化槽 8.9%、コミプラ 0.3%				
結果	汚水処理施設整備人口比	偏差値	84.2%	53.8	+	76.4%	20.3%	0.9%	標準偏差 26.5%
	構成比	下水道 59.6%、集落排水 21.8%、合併浄化槽 2.9%、コミプラ 0.0%			平均 下水道 62.6%、集落排水 3.4%、合併浄化槽 9.9%、コミプラ 0.5%				
	技術職員率	偏差値	60.0%	51.4		57.1%	100.0%	0.0%	標準偏差 20.1%
	BOD 法定試験水質基準遵守率	100.0%				100.0%回答都市 88.5%			
成果	汚水処理施設使用人口比	偏差値	65.2%	47.9		69.6%	100.0%	10.3%	標準偏差 21.3%
	構成比	下水道 43.1%、集落排水 19.3%、合併浄化槽 2.8%、コミプラ 0.0%			平均 下水道 55.9%、集落排水 2.7%、合併浄化槽 10.6%、コミプラ 0.5%				
	有収率	偏差値	86.3%	51.5		84.3%	100.0%	31.3%	標準偏差 13.5%
コスト	処理人口 1 人あたり汚水処理費	偏差値	129,529 円	73.5	突出値	43,609 円	206,606 円	854 円	標準偏差 36,521 円
	処理人口 1 人あたり使用料収入	度数分布	20,696 円		+++	13,083 円	24,833 円	0 円	標準階層 12,500~15,000 円
	経費回収率	偏差値	16.0%	40.6	--	41.9%	140.8%	0.0%	標準偏差 27.6%円

■総合コメント 計画人口比はかなり高いものの、使用人口比は平均値を下回っています。汚水処理率全体を上げることを基本に、下水等、集落排水の計画の見直し、市町村設置型を含む合併浄化槽の普及なども検討されることが現実的と見られます。

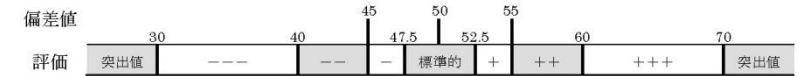
### ■南魚沼市担当（下水道課）コメント

平成 25 年度を完了目標に現在整備拡大中であり、対前年の新規使用接続人口 1,718 人、同整備拡大人口 745 人となっており、現状はこの指標以上に増加している。しかし、高齢化や、経済的な理由等により依然として未接続世帯の固定化の傾向があり、短期間に確実に接続率を向上させる特効薬はありません。計画段階からの住民説明や未接続者に対する啓蒙活動を粘り強く進めることにより接続促進を図ります。

# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 16 ごみの減量・リサイクルの推進（ごみ収集・処分サービス）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	ごみの分別種類	12			平均 12 種類、最大 25 種類、最小 2 種類				
	市民 1 人 1 日ごみ排出量（生活系）	偏差値	632g	45.2	-	687g	1,233g	407g	標準偏差
	市民 1 人 1 日ごみ排出量（事業系）	偏差値	506g	71.0	突出値	275g	656g	0g	標準偏差
	市民 1 人 1 日ごみ排出量（総収集）	偏差値	1,139g	61.1	+++	962g	1,541g	419g	標準偏差
	市民 1 人 1 日ごみ排出量（総排出）	偏差値	1,171g	59.2	++	1,028g	1,541g	425g	標準偏差
結果	市民 1 人 1 日ごみ焼却量	偏差値	1,004g	63.2	+++	789g	1,119g	153g	標準偏差
	ごみ焼却施設の種類	ガス化溶融・改変			平均 焼却 82.9%、ガス化溶融・改変 9.2%、なし 7.9%				
	焼却施設余熱利用	温水、水蒸気、発電、その他利用			温水利用都市 77.9%、水蒸気利用都市 42.1%、発電利用都市 50.0%、その他利用都市 7.6%				
成果	市民 1 人 1 日リサイクル量	度数分布	195g			213g	414g	91g	標準階層 175g～225g
	リサイクル率	偏差値	16.6%	43.8	--	21.4%	53.5%	8.7%	標準偏差 4.7%
	リサイクルの構成比	直接資源化 22.3%、中間処理後再生 60.9%、集団回収 16.8%			平均 直接資源化 32.3%、中間処理後再生 34.1%、集団回収 33.6%				
	市民 1 人 1 日最終処分量	度数分布	51g		--	105g	252g	2g	標準階層 90g～120g
	最終処分場の数	1			1 施設 47.3%、複数施設 31.1%、なし 21.6%				
	最終処分場最長残余年数	15 年			10 年未満 32.4%、10～20 年 40.5%、20 年以上 27.0%				
コスト	市民 1 人あたりごみ処理総コスト	偏差値	18,470 円	72.3	突出値	11,089 円	25,844 円	4,835 円	標準偏差 3,312 円
	市民 1 人あたりごみ処理手数料等	度数分布	4,442 円		突出値	1,475	7,719	0	標準階層 1,000～1,500 円
	手数料等市民負担率	偏差値	24.0%	59.7	++	13.7%	48.2%	0.0%	標準偏差 10.7%

■総合コメント ガス化溶融・改変方式を採用しているため、最終処分量は少なくなっていますが、事業系のごみ排出はかなり多く、リサイクル率は低いものに止まっています。課題は非常に鮮明なので、事業系一般廃棄物の減量・リサイクル推進を強力に推進されることがベター・プラクティス都市への道と見られます。

### ■南魚沼市担当（廃棄物対策課）コメント

事業系廃棄物の排出量が多いのは、食品製造業から排出されるものが多量にあるためです。また、処理手数料が高いことも、手数料単価の高い事業系の排出量が多いことが原因と考えられます。今後は、関係製造業者と協議を進めるなかで減量を進めていきます。

# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 17 情報公開の充実（公文書開示・広報サービス等）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	テレビ・ラジオでの定期情報提供の有無	有				行っている都市 69.6%			
	市民 10,000 人あたり公文書開示請求数	2.1 件				10 件未満都市 85.7%			
結果	1 世帯あたり年間広報発行部数	27.5 部（月 2 回タイプ）				月 1 回タイプ 38.0%、月 2 回タイプ 58.2%、月 3 回タイプ 3.8%			
	1 部あたり広報年間総頁数（特別タイプ除く）	度数分布	512 頁		++	416 頁	664	168	標準階層 375 頁～425 頁
	パブリック・コメントに付された案件数	1 件				10 件未満都市 87.5%			
成果	開示率	偏差値	76.9%	41.5	--	87.9%	106.3%	32.7%	標準偏差 13.0%
	市民 1 人あたり市公式サイト・アクセス数	再検討中							
	1 案件あたりパブリック・コメント意見数	9.0 件				10 件未満都市 60.4%			
コスト	1 世帯あたり広報発行コスト	度数分布	1,090 円		+	894 円	2,127 円	257 円	標準階層 750 円～1,000 円
	1 部あたり広報発行コスト	偏差値	40 円	46.7	-	48 円	173 円	12 円	標準偏差 27 円
	市民 1 人あたり公文書開示コスト	再検討中							
	市民 1 人あたり情報公開事業総コスト	再検討中							

■総合コメント 広報の情報量は多く、コストも妥当な都市と見られます。開示率の低さは、特定の理由があるのでしょうか。

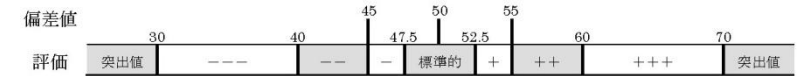
### ■南魚沼市担当（企画政策課）コメント

- ・アクセス件数(年間)は、コンテンツの充実にともない 06 年度 356,940 件から 07 年度 404,766 件に増加しています。
- ・パブリックコメント意見募集の案件が 1 件しかなく、意見数も 9 件と少ないため評価としては難しいと考えます。
- ・経年変化の広報発行コスト 1 部あたり 05 年度の数値については、10 月 1 日旧塩沢町と合併があり、旧塩沢町の経費配分や公式ウェブサイトのシステム導入作業・初の市政要覧編纂という特殊要因があり人件費の配分が平年ベースと大きく違ったためと考えられます。
- ・市報は、基本的なスタンスとして各課からのお知らせチラシは極力発行しないで市報に掲載していることから毎年ページ数が増加傾向にあるため印刷単価が下がっているにも関わらずコストが上昇しています。

## 南魚沼市 07 年度分析カルテ

### 18 届出・証明交付の充実（届出・諸証明・税務証明交付事業）

#### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	1 窓口あたり平均サービス人口（届出）	偏差値	20,933 人	43.8	--	38,727 人	128,947 人	4,707 人	標準偏差 28,617 人
	1 窓口あたり平均サービス人口（諸証明）	偏差値	20,933 人	48.7		23,287 人	120,038 人	4,371 人	標準偏差 17,540 人
	1 窓口あたり平均サービス人口（税務証明）	偏差値	20,933 人	45.0	-	35,873 人	130,321 人	5,223 人	標準偏差 30,058 人
	市窓口以外での取扱有り	なし		実施都市			届出 1.3%・諸証明 21.3%・税務証明 12.5%		
結果	市民 1 人あたり届出件数	偏差値	0.26 件	50.8		0.24 件	0.94 件	0.01 件	標準偏差 0.14 件
	市民 1 人あたり諸証明交付件数	度数分布	1.19 件	/	--	1.31 件	1.77 件	0.77 件	標準階層 1.3~1.4 件
	市民 1 人あたり届出+諸証明交付件数	偏差値	1.44 件	45.6	-	1.55 件	2.25 件	0.88 件	標準偏差 0.23 件
	市民 1 人あたり税務証明交付件数	度数分布	0.34 件	/	+++	0.23 件	0.44 件	0.07 件	標準階層 0.20~0.25 件
成果	職員 1 人あたり届出+諸証明交付取扱件数	度数分布	4,773 件	/		5,338 件	12,126 件	1,253 件	標準階層 4,500~5,500 件
コスト	届出+諸証明 1 件あたり事業費（人件費含む）	偏差値	1,589 円	57.2	++	1,224 円	2,629 円	179 円	標準偏差 510 円
	諸証明交付 1 件あたり平均手数料	偏差値	340 円	53.6	+	317 円	537 円	190 円	標準偏差 63 円
	税務証明交付 1 件あたり平均手数料	偏差値	176 円	44.0	-	252 円	1,089 円	29 円	標準偏差 125 円

■総合コメント 諸証明交付を中心に見ると、窓口開設数や職員 1 人あたりの交付取扱数は平均的ですが、なぜか事業費が高めです。自動交付機やデータ処理の経費がかかっているのでしょうか。

#### ■南魚沼市担当（市民課）コメント

・住民票、戸籍等の「自動交付機」設置により、経費負担は大きいですが、市民の皆さんから「便利」との評価もいただいています。これからも自動交付機利用に必要な市民カード等の普及と啓蒙を行い、交付機利用者の増加を図っていきます。

# 南魚沼市 07 年度分析カルテ

## 19 男女共同参画社会づくり（男女共同参画社会づくりの普及・啓発）

### ■南魚沼市データの評価と全体での位置



指標		評価方法	御市数値	偏差値	評価	全国平均値	最大値	最小値	備考
基本	男女共同参画条例等の有無	条例等、推進計画等、担当部署、相談窓口、関連審議会		有る都市の率 条例等 45.0%、推進計画等 91.3%、担当部署 98.8%、相談窓口 83.3%、関連審議会 80.0%					
	市民 10,000 人あたり市職員数（全体）	偏差値	182.6 人	64.0	+++	122.1 人	267.8 人	47.6 人	標準偏差 43.1 人
	市民 10,000 人あたり市職員数（一般会計）	偏差値	126.3 人	57.7	++	99.6 人	208.0 人	40.8 人	標準偏差 34.7 人
	市民 10,000 人あたり審議会等委員数	偏差値	47.3 人	48.3		54.0 人	187.2 人	2.0 人	標準偏差 39.5 人
結果	市職員に占める女性職員率	度数分布	51.4%	/	+	46.1%	69.8%	23.8%	標準階層 45%～50%
	市民 10,000 人あたり男女共同参画推進講座等開催数	2.07 回		10 回未満都市 13.8%、10～50 回 41.3%、50～100 回 18.8%、100～200 回 20.0%、200 回以上 5.0%					
	独自の広報、団体支援の有無	独自の広報 団体支援		有る都市の率 独自の広報 58.0%、団体支援 58.0%					
成果	女性議員率	度数分布	3.3%	/	突出値	14.0%	37.0%	3.3%	標準階層 10%～15%
	市管理職に占める女性管理職率	度数分布	24.6%	/	+	17.7%	37.7%	0.2%	標準階層 15%～20%
	審議会等に占める女性委員率	偏差値	17.2%	37.8	---	24.9%	45.5%	9.6%	標準偏差 24.3%
	男女共同参画推進講座等 1 回あたり参加者数	偏差値	38.5 人	45.3	-	60.2 人	240.0 人	0.0 人	標準偏差 46.4 人
コスト	市民 1 人あたり男女共同参画事業コスト	17 円		50 円未満都市 48.8%、50～100 円 18.8%、100～200 円 18.8%、200 円以上 13.8%					

■総合コメント 市民 10,000 人あたりの職員数がかなり多い数値となっています。合併の影響でしょうか。女性職員率、女性管理職率は高い数値となっています。病院、保育所等の影響でしょうか。今後の課題として、男女共同参画推進講座等の積極的な開催が望まれます。

### ■南魚沼市担当（企画政策課）コメント

・市民 10000 人あたりの職員数が多い理由は、病院（診療所）2 箇所が直営であること、公立保育園の割合が高いこと、消防行政を行っていること等が考えられます。これらに従事する職員数は 398 人（全体で 1,032 人）と約 4 割を占めています。また、病院、保育園職員に女性が多いことから、女性職員率は高くなっています。